



VJU
Vietnam Japan University
VNU since 1906

【日越大学メールマガジン Vol.26, 2019年7月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に3期生80名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究(MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)、各専攻プログラムを勉強しています。また、グローバルリーダーシッププログラム(MGL)を2019年9月から新たに開講する予定です。



【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

1. 古田元夫日越大学学長が令和元年度外務大臣表彰を受賞

古田元夫学長が令和元年度外務大臣表彰を受賞され、7月23日に外務省飯倉公館において、河野外務大臣から直接表彰状が授与されました。

外務大臣表彰は、国際関係の様々な分野で活躍し、日本と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層にお願いすることを目的としており、今回、ベトナムからは、16個人（日本人：12名、ベトナム人：4名）、2団体がこの栄誉を贈られました。

日越大学は、古田学長のもと、世界で活躍することができる「人材」の輩出をおこない、世界に通用する研究志向大学として、一步ずつ着実に歩んでいく所存ですので、引き続き、宜しくご支援の程お願いします。

2. 2019年学位記授与式

7月20日（土）にベトナム国家大学ハノイ校 Nguyen Van Dao Hall において、日越関係者、卒業生の家族・友人、第3期生在校生、日越大学教職員等、約200名のご出席を頂き、修士課程第2期生72名の卒業式が盛大に執り行われました。

古田学長からは、卒業生の門出に際し、「① 仕事と人生において、持続可能な発展の理念を心にとめて活用することを期待する。② 日越両国民を結び付ける大使となり、日越双方の文化的価値と精神を体現する模範になってほしい、③ 社会と共同体での日越大学のイメージアップのために積極的に広報をおこない、貢献してくれることを期待する。」旨の祝辞がありました。

また、来賓としてご出席頂いた、武部勤日越友好議員連盟特別顧問からは、「日越大学は世界初の

サステナビリティ大学院として、リベラルアーツを主軸にしているのが特徴であるが、卒業生に「目測力」という言葉を贈る。この目測力というのは、タクシー運転手を例に挙げると、ベテランの運転手の場合は、目・頭・心で正確に状況を把握し、道路状況を見極め、迂回路を使って早く目的地まで到着をすることができる。これはある意味リベラルアーツである。また、これからアジアが世界で地球丸の船長になっていくにあたり、日越大学の卒業生からその船長が出てくることを期待する。」とのご祝辞を頂きました。

更に、芝田浩二上席執行役員（ANA ホールディングス株式会社）からは、「ボーダレス化が進む今日、成長著しいベトナムから、アジアそして世界の持続的発展に寄与する有為な人材として巣立っていくが、日越大学の高邁な建学の理念を胸に刻み、大いに活躍して頂くことを期待している。」旨のご祝辞を頂きました。

卒業生 72 名は、それぞれの新たな道や以前の職場に復職し、日越大学の強力なサポーターとして、日越大学を支えてくれることを確信しています。



3. 修士論文審査会の開催

(1) 環境工学プログラム

環境工学プログラムでは、6月29日（木）に修士論文審査会を行い、2期生の12名が日頃の研究成果を発表しました。学生たちは、環境マネジメントから環境汚染の実態解明、排水処理の技術開発など幅広い研究テーマに取り組みました。

本プログラムのスタッフはもちろん、幹事校である東京大学と立命館大学の先生方、他プログラムの同級生たち、及び後輩の3期生らが参加するなか、審査員の厳しい質問にも適格に一生懸命答えている様子が印象的でした。

なお、社会基盤プログラム、ナノテクノロジープログラムでの修士論文審査会の様子については、次号にてご報告させていただきます。



(修士論文審査会の様子)



(審査会の学生と教員の懇親会)

4. JETプログラム等壮行会

学位授与式の前日、7月19日（金）に、在ベトナム大使公邸において、「JETプログラム／国費留学（日本語・日本文化研修留学生）／アジア高校生架け橋プロジェクト壮行会」が開催され、日越大学からは、JETプログラムにより日本に派遣される第2期生ホアン・ティ・チャムさんが、梅田駐ベトナム国大使を初め、多くの関係者から激励を受けました。

JETプログラムは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」という、世界最大級の語学指導と国際交流を行うプログラムで、「外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図ることを通じて、日本と諸外国との相互理解の増進と日本の地域の国際化の推進を目的として、昭和62年度から実施されています(*)。

今年度ベトナムからは、日越大学修了生であるチャムさんを含む3名が派遣される予定で、最長で5年間、日本の各自治体における「国際交流員」として活躍することが期待されています。

(*) 自治体国際化協会発行のパンフレットによる

チャムさんは、日越大学地域研究プログラム（日本研究）の第2期生として勉学に励み、2018年5月には、国際交流基金主催の「日本語フェスティバル2018」のスピーチコンテストにおいて見事1位に輝いた実績があり、また、日本語で修士論文を完成させ、今年6月の論文審査会でも高い評価を得ました。

チャムさんは、他のJETプログラム採択者とともに、8月4日にベトナムを出発して、富山県庁国際課において勤務する予定です。



(写真左：チャムさん（左端）と他のJETプログラム採択者・梅田大使)

(写真右：JETプログラム採択者・国費・架け橋プロジェクト採択者・大使御夫妻・来賓の方々)

5. 日越大学附属日本語教育センター（JLEC）実務関係者意見交換会の開催

2018年5月31日の日越共同声明において、「日本語教師の質的な向上及び数の増加を含む、日本語教育のための環境のさらなる整備」に向けた協力の一環として、日越大学附属日本語教育センター（JLEC）の開設が明記されました。それを受け、日越大学では、7月22日にJLEC設立に向けた実務関係者意見交換会を開催しました。

当日は、在越日本大使館や国際交流基金の他に、ハノイ市内で日本語教育を行う日本語センターや技能実習生送り出し機関で従事する日本語教師が多く集まりました。

日越大学から、JLEC設立に向けた日本語教師向けパイロット研修の紹介が行われ、活発な意見交換がおこなわれました。パイロット研修は今年8月から12月までの4か月間実施され、ハノ

イ市内で日本語教育に従事する教員を対象に、日本語会話の指導能力向上を目指したトレーニングを行います。

2 日越大学専任教員の横顔

昨年度から日越大学では、専任教員の雇用を積極的におこない、本学の教育の質の充実を図るために優秀な専任教員を採用しています。そこで、本欄にて、各プログラムの専任教員を紹介していきます。今月は、社会基盤プログラムの Dr. Nguyen Tien Dung 先生とナノテクノロジープログラムの Dr. Bui Nguyen Quoc Trinh を紹介します。

【社会基盤プログラム】

◇ **Name: Nguyen Tien Dung**

◇ **Program: Master program in Infrastructure Engineering (MIE)**

◇ **Education background:**

Dr. Nguyen graduated Bachelor of Engineering in Civil and Industrial Construction Engineering (NUCE, 2001), Master of Engineering in Engineering Geology (AIT, 2004), and PhD in Geotechnical Engineering (Dong-A Univ., 2008). Since 2009, he has actively worked as a scholar and consulting engineer in the area of geotechnical engineering. Dr. Nguyen has published more than thirty technical papers in the field of geotechnical engineering, of which ten papers are in ISI indexed journals.

◇ **Process of joining VJU**

Prior to joining VJU as a lecturer and coordinator of MIE program, Dr. Nguyen had worked as a lecturer and researcher at Dong-A University, S. Korea, for more than seven years. During his time at Dong-A University, he also participated in as a part-time lecturer at other universities in Korea and Vietnam. Besides, he also actively involved in consulting work for industrial firms in Korea and Vietnam.

◇ **Research themes**

Dr. Nguyen's researches focus on the following fields in geotechnical engineering: (i) deformation behavior of geomaterials; (ii) bearing capacity and settlement of shallow and deep foundations; (iii) ground improvement. Rather than theoretical approach, most of the researches are conducted using laboratory and field experiments.

◇ **Future research plans and aspirations at VJU:**

As staff member of MIE program of VJU, Dr. Nguyen is inspired to contribute his knowledge to a more sustainable infrastructure system of Vietnam in the aspect of better or optimal solutions for foundation work of construction projects. In particular, he would focus on doing researches on ground improvement and deep foundations. Besides, he would also actively involve in researches related to tunneling in urban areas such as Hanoi and HCM cities.



(Dr. Nguyen Tien Dung)

【ナノテクノロジープログラム】

◇ **Name:** BUI NGUYEN QUOC TRINH

◇ **Program:** Nanotechnology Program

◇ **Education Background:**

Dr. Trinh had been awarded, a high-school degree in 1998, a bachelor degree in 2002 and a master degree in 2004 at VNU University of Science, Hanoi, Vietnam; a doctor degree in 2007 at Japan Advanced Institute of Science and Technology (JAIST).

◇ **Process of joining VJU:**

Right after having a PhD degree in 2007, Dr. Trinh with a position of post-doc researcher worked at JAIST. From 2008 to 2012, he with the same position changed to Japan Science and Technology Agency, Exploratory Research for Advanced Technology. Prior to join VJU, he was a senior lecturer at VNU University of Engineering and Technology (VNU-UET) for seven years.

◇ **Research theme**

His research interests included non-Si based semiconductor nano-materials and nano-devices, ferroelectric memories technology, flexible display technology, solar-cell development, and atmospheric-pressure plasma application.

◇ **Future research plans and aspirations at VJU**

- Future research plans

Eight years ago, we succeeded to develop a ferroelectric-gate thin film transistor by using all solution processes, for the very first time in the world, towards printable inorganic electronic devices. Based on such findings, a future research plan will be proposed at Vietnam Japan University as follows. (1) Developing thin film transistors using low-costed materials for display technology; (2) Scaling down devices with non-vacuum technology; (3) Fabricating inorganic solar cells with all solution process, towards printable solar-cell panels; (4) Opening a novel research direction on nanoelectromechanical system, satisfying to low-carbon network.

- Aspirations

Fortunately, he was a member in the delegation of Vietnam National University, to discuss with Japanese professors at Osaka University for the construction of master program in nanotechnology in VJU, in 2015. Furthermore, after a close-knit duration for 8 years in Japan and 16 years at Vietnam National University, he's expecting to transfer whole researching and educating experiences to students. That is, he understands in depth both Vietnamese and

Japanese societies require high-quality human resources, in order to catch up the 4.0 industrial revolution, in which nanotechnology is one of key basis. Therefore, he with great honors would have a small contribution to solve the outcome matter of undergraduate and graduate students in both Vietnam and Japan for the long-term period.

◇ Others

From a point of view in scientific society, he has contributed to international conferences as a committee member, a symposium chair, an invited speaker, and a reviewer for ISI journals.



Taken at VJU on the first working day (2019/03/01).



Taken with my 1st intake VJU student, for VJU advertisement at Waseda University (in 2017). He's now working at Tokyo.



Taken with my 1st intake VJU student, during internship at Kansei Gakuin University (in 2017). He's now doing PhD degree at National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan.

3 今後の主な予定、行事（予定）

- ◇ 8月5日～17日 法政大学職員インターンシップ
- ◇ 8月11日～17日 法政大学フィールドワーク
- ◇ 8月18日～28日 サマープログラム
- ◇ 9月9日 第4期生入学式

4 人事往来

→ 離任

- ◇ 8月17日 浅田 康史 専門家（業務調整2）

→ 着任

- ◇ 7月29日 神崎 博之 専門家（産学連携／財務計画）
- ◇ 8月12日 浅水 伸介 専門家（業務調整2）

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学
修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 mail.magazine@vju.ac.vn までご連絡頂ければ幸甚
に存じます。